

日本臨床医学リスクマネジメント学会学術雑誌 『安全医学』

(冊子版 : ISSN 1349-5224 電子版 : ISSN 1348-6322)

刊行の趣旨

日本臨床医学リスクマネジメント学会 (JSRMCM) は臨床医学におけるリスクマネジメントにかかわる学術成果を、当学会の会員、そして広く社会に発信し、日本の医学に貢献していく必要があります。

そこで、和文機関誌『安全医学』を年2回、刊行し、会員に郵送します。そして、図書館ならびに、非会員で購読を希望される方も、購読が可能になるようにしています。また、掲載された論文は医学中央雑誌、医学図書館雑誌蔵書目録などのデータベースに登録されます。

本誌には各種委員会からのお知らせ、学術総会のサマリー、シンポジウム・分科会・教育研修のサマリー、推薦図書、会員著作、基本教材、求人情報、医療安全対策の資料、食品安全対策の資料、医薬品安全対策の資料、化学物質安全の資料、環境安全対策の資料、職業病安全対策の資料、関連学会の動向などの情報も掲載されます。なお、これまで発行されてきました電子版 (ISSN 1348-6322) につきましては、2013年より発行を停止いたします。

本誌が掲載されている国内の主なデータベース

日本全国図書誌

国立国会図書館蔵書検索・申込システム

アジア言語 OPAC

医学中央雑誌データベース

独立行政法人科学技術振興機構データベース (J-STAGE)

一般財団法人日本医薬情報センター (JAPIC) 附属図書館データベース

一般財団法人国際医学情報センター (IMIC) 雑誌目録

編集の方針

- 1) 学際学会としての機能を果たすべく、様々な研究分野の専門家から『安全医学』編集委員を構成し、編集にあたります。
- 2) 投稿論文は原則として2名の査読者により査読されます。また、依頼原稿 (特別寄稿) につきましては、1名の編集委員が原稿の確認・調整等を担当します。
- 3) 編集長、査読者および編集事務局とのやり取りは、郵送および電子メールで行います。
- 4) 依頼原稿 (特別寄稿) 以外の原稿につきましては、筆頭著者は、本学会の会員であることを要します。なお、年次総会、分科会、地方会、電子セミナー、電子シンポジウム等で発表された演題につきましては、それらの中から適当なものにつき、会長ないし開催責任者が『安全医学』への掲載の推薦あるいは投稿の依頼を行う場合があります。